

**掲げ**  
身近で活躍する  
地域農業の  
「担い手」

JAとうかつ中央管内の、松戸市・流山市・鎌ヶ谷市には、地域農業の担い手である農家が各地で活躍しています。その農産物をぜひ手に取って、ご賞味ください。

いつかは、野菜の加工販売をするお店を持ちたい



父の盛利さん(51)と直売所で

農業を始めて2年目。仕事に就いた理由は、自然に関わる仕事がしたかったこと、野菜好きだったためです。

両親と、市場出荷向けに、矢切ねぎとキャベツを作っています。最近始めたばかりの、軒先の直売所には、季節の野菜を売っています。直売所は、朝採れ野菜を提供しています。旬野菜を新鮮な状態で選んでいただけます。夏野菜は、もうすぐ終了です。今は秋野菜に向けて準備をしています。直売所には、野菜の特長やレシピを書いてあるのでぜひご覧ください。お客様から、「直売所のレシピを試して料理を作ったら、美味しかった」と言われたこともあり、心を込めて野菜を作ってきて良かったです。

いつかやってみたい事は、料理好きなので、野菜の加工販売のお店を開くことです。

最近、新規就農希望者研修の開校式に出席し、仲間も増えました。美味しい野菜を作る技術の向上のため知識習得の毎日です。

これからも、両親と一緒に、地元松戸で農業を頑張ります。



島根 花奈さん(20歳)  
松戸市三矢小台



野菜の袋詰め作業

お客様に美味しさという感動をお届けしたい



石井 美裕さん(39歳)  
鎌ヶ谷市鎌ヶ谷



収穫まで地道な作業が続く

鎌ヶ谷市特産の梨とぶどうを作る、果樹農家の3代目。「石井テル園」の石井です。二十歳から就農して、作業は妻、両親と行っています。

農園は、梨とぶどうを観光農園(梨狩り・ぶどう狩り)・直売などで販売しています。全国発送も承っております。梨は、幸水・豊水・新高・あきづき、新興(しんこう)・王秋(おうしゅう)など、ぶどうは、パッパロー・ヒムロッド・シードレス・スチューベン・藤稔など各品種を扱っています。お客様のニーズに沿った、品種をご用意していますので、どれもおすすめです。

今年の梨とぶどうは出来も良くぜひ、食べてみてください。新型コロナの影響で観光農園の食べ放題は自粛をさせていただいていますが、お持ち帰り直売はしております。

祖父の代から果樹を始めて、ロコミでお客様から評価をいただき、ありがたいことに、毎年多くのお客様にご来園いただいています。鎌ヶ谷市の梨は農産物でも主要品目で、市の特産品としてご愛顧いただいています。

市内には、同年代の生産者も多く、栽培技術の講習会・品評会等で互いに刺激し合い良品生産を続けています。私も、鎌ヶ谷市梨業組合の生産者の一人として、誇りを持って果樹栽培に励んでいます。今後も、地元鎌ヶ谷で高品質な果樹を作っていきます。



梨の袋掛け作業



母の香代子さん(61)、  
父の武彦さん(63)と共に

**JA(農協)って何だろう? 協同組合って?**

**JA**は、「農業協同組合(農協)」の愛称です。  
「Japan Agricultural Cooperatives(日本農業の協同組合)」の頭文字です。

JAは、全国各地にあり、地域の中でその特色を活かした、様々な農業・農家のサポートをしています。JAは、農家や地域の人たちなどの「組合員」が相互扶助(そうごふじょ:お互いに助け合い支えること)の精神のもと、地域の農業そして暮らしを守り、より良い社会を築くことを目的に組織された協同組合です。JAは、様々な事業を行っています。これを「総合事業」と呼び、営農指導、貯金やローン、共済など多彩なサービスを提供しています。

**協同組合(きょうどうくみあい)**は、共通の目的を持った個人や事業者が集まり、お互いに助け合う組織です。JAもその一つです。出資金という形式で、自分たちで元手を出し合い、「組合員」となり事業を利用し、組合員として運営に関わっています。協同組合は、組合員の声や意見を大切にし、それを組合の事業運営に反映しています。

JAは様々な取り組みを行って、次の世代を担う若い人々に「助け合いの精神」も伝えていきます。

**「一人はみんなのために、みんなは一人のために」**  
この言葉は、世界の協同組合の合い言葉となっています。

**JAとうかつ中央**は、農を基軸とした活動を通じて、地域・人・環境を創造し、心豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献する農業協同組合として、「総合事業」を行っています。

JAは「正組合員」(農業を仕事にされている方)以外の皆さんにもご利用いただける協同組合です。「准組合員」(農業以外の仕事をしている人で、JAに出資金の支払い手続きをされた方)の皆さんは、地元野菜を食べたり、事業を利用していただく「農業振興の応援団」と位置付けています。組合員以外の「地域の皆さん」と共に、地域農業とくらしを支える協同活動の仲間です。正組合員・准組合員、地域の皆さんが、JAの様々な事業をご利用いただくことで、地域農業が支えられ、「新鮮で安全・安心な農産物」が作られています。



▲ 女性部による手芸講習会



▲ 生産者による即売会



▲ JAによるPRイベント

**自己改革 実践中!** 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」



JAグループ千葉  
キャラクター  
チパンダくん

もっと地域農業を元気に  
**とうかつ中央  
自己改革 News**

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の目標を実現するため、様々な事業の改革(JA自己改革)に挑戦しています。当JAの改革の実践状況の一部を紹介します。

**JA役職員が地場産を販売**

当JAは、アトレ松戸で期間限定ショップを開きました。常勤役員と職員が店頭立ち、朝採れの枝豆やトマト、ナス、キュウリ、ラディッシュなどおよそ15種類の地場農産物、あじさいねぎの加工品を販売しました。今後も、JA役職員が丸丸となって、地場農産物の消費拡大に向けて、ピーアールイベントを開く予定です。



**花農家を支援  
サイネリア届ける**

コロナ禍で、販路の減少に苦しむ花農家を支援するため、サイネリアを合計3,000鉢買い取り、幼稚園・保育園、小中学校、病院など約65施設に贈りました。

当JA常勤役員が管内3市長を訪問し、寄贈を報告しました。



▲ 流山市へ



▲ 松戸市へ



▲ 鎌ヶ谷市へ

**農業者と求職者をマッチング  
「無料職業紹介所」開設**

地域農業の人材確保や農業での雇用機会の創出に向けて、農業無料職業紹介事業を始めました。労働力を確保することにより、生産性の向上につなげていきます。お問い合わせは、経済センター農業振興課 Tel 047(701)5310



**一層のサービス向上へ新店舗「常盤平支店」「松戸西支店」開店**

事業基盤の強化、地区内サービスの向上をはかるため、施設整備を行いました。旧六和・旧古ヶ崎支店を統合して、松戸西支店を、旧常盤平・旧稔台支店を統合して、常盤平支店を開店しました。組合員の活動や地域住民の皆様との交流の拠点、農産物出荷の基地としての活用を目指します。



▲ 常盤平支店



▲ 松戸西支店

もっと知ってください!  
**私たちJAグループ千葉の活動を。**

「JAグループ千葉公式ホームページ」で情報発信中

千葉県内には、17のJA(農業協同組合)があります。地域に根差した組織として、日々活動をしています。ホームページでは、「食」「農」「協同組合」に関する活動情報を更新しています。



**JAグループ  
「みんなの良い食プロジェクト」**

JAグループでは、心と体を支える食の大切さ、国産・地元産の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産と日本の農業のファンになっていただくという運動を全国的に展開しています。

©みんなの良い食プロジェクト



キャラクター  
えみ  
笑味ちゃん